

オフラインキャッシュを使用した ライブインストーラー実行手順書 【 ESET PROTECT 】

第6版

2025年5月

Canon

はじめに

- 本資料は、クラウド型セキュリティ管理ツール「ESET PROTECT」(以下EP)で作成したライブインストーラーに関して、オフラインキャッシュを使用して実行する手順についてまとめた資料です。
- 本資料は、EPのアクティベーションまで完了し、EPがすでに利用可能な状態になっていることが前提となっております。
- 本資料は、Windowsのクライアント端末でオフラインキャッシュのダウンロードおよびライブインストーラーを実行する手順について記載しています。

目次

- オフラインキャッシュとは
- ライブインストーラーの作成
- オフラインキャッシュのダウンロード
- オフラインキャッシュを使用したライブインストーラーの実行
- 参考情報・注意事項

オフラインキャッシュとは

通常、ライブインストーラーを実行するとインターネット経由でESET社のリポジトリから各種プログラムのインストーラーがダウンロードされます。

トラフィックへの影響を懸念される場合などライブインストーラーを実行する端末が毎回各種プログラムのインストーラーをESET社のリポジトリからダウンロードしたくない場合にオフラインキャッシュを使用します。

あらかじめオフラインキャッシュを作成しライブインストーラーと同じフォルダに配置することで、ライブインストーラー実行時にESET社のリポジトリから各種プログラムのインストーラーをダウンロードするかわりに、オフラインキャッシュのデータを使用してプログラムをインストールすることができます。

ライブインストーラーの作成

- ライブインストーラーはEPで作成します。ライブインストーラー作成の流れは以下になります。

1.静的グループの作成（任意）

- クライアントが所属するグループを作成します。事前に静的グループを作成し、インストーラーに静的グループ情報を組み込むことで、管理後のグルーピング負荷を軽減できます。

2.ポリシーの作成（任意）

- クライアントの設定を行うポリシーを作成します。ポリシーもインストーラーに組み込むことが可能で、インストール時の初期設定を変更できます。

3.インストーラーの作成

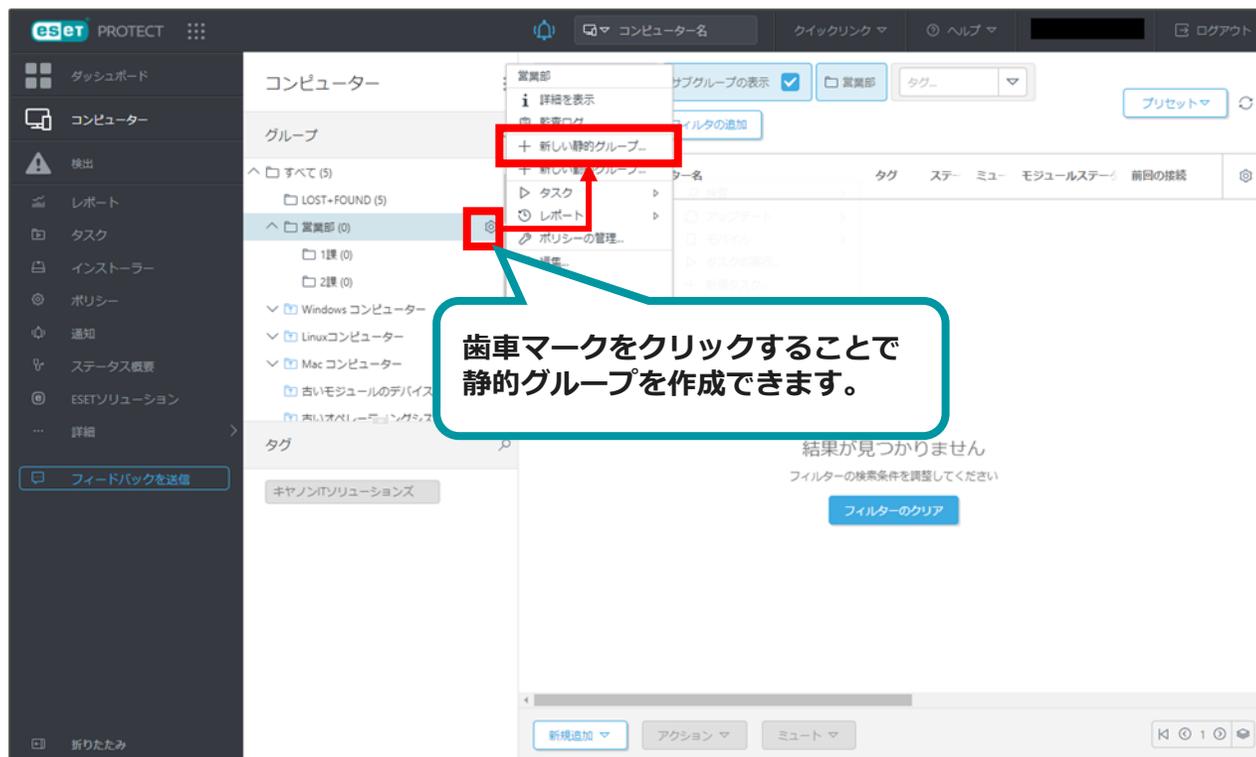
- ESET Managementエージェント（以下EMエージェント）とクライアント用プログラムをインストールするためのインストーラーを作成します。複数の静的グループがある場合は、グループごとにインストーラーを分けて作成する必要があります。

ライブインストーラーの作成

● 静的グループの作成

静的グループはメインメニュー「コンピューター」から作成可能です。グループは階層構造も可能なため、柔軟に組織構造を作成することができます。

■ メインメニュー「コンピューター」画面



■ 静的グループ作成画面

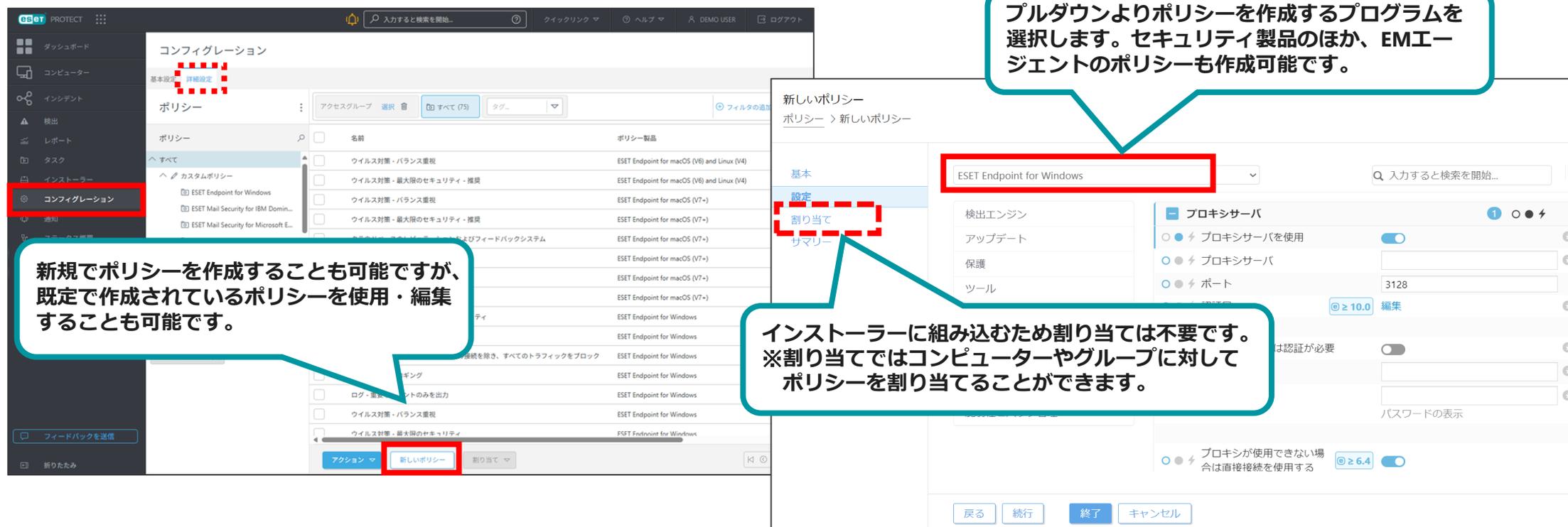


ライブインストーラーの作成

● ポリシーの作成

メインメニュー「コンフィグレーション」のポリシー設定より、クライアント用プログラムの設定を行います。検査から除外するファイルやフォルダの設定、検出エンジンのアップデート先の設定、プロキシ設定、パスワード保護など、お客様環境に合わせて設定を行ってください。

■ メインメニュー「コンフィグレーション」 - 「ポリシー」画面



プルダウンよりポリシーを作成するプログラムを選択します。セキュリティ製品のほか、EMエージェントのポリシーも作成可能です。

新規でポリシーを作成することも可能ですが、既定で作成されているポリシーを使用・編集することも可能です。

**インストーラーに組み込むため割り当ては不要です。
※割り当てではコンピューターやグループに対してポリシーを割り当てることができます。**

ライブインストーラーの作成

● インストーラーの作成

EPメインメニュー「インストーラー」より、ライブインストーラーを作成します。

※既定の設定では、ライブインストーラーにはEMエージェントとクライアント用プログラムが含まれています。

インストーラーの設定を変更する場合は、「インストーラーのカスタマイズ」を選択します。

■ メインメニュー「インストーラー」画面

プログラムをインストールするクライアントのOSを選択します。
WindowsまたはmacOSを選択した場合、ライブインストーラーが
ダウンロードされます。

インストーラーが作成されていません
選択したESET製品をダウンロードして、アクティベーションし、デバイスをESET PROTECTに接続する[インストール](#)
メニューを作成します。

インストーラーの作成

ESETセキュリティ製品をインストールしてデバイスを管理および保護

会社ネットワーク全体でセキュリティ製品を配布します。ESETセキュリティ製品を展開し、オペレーティングシステムに基づいてデバイスをESET PROTECT Cloudに接続するには、さまざまな方法があります。[ESETヘルプの詳細...](#)

Windows macOS Linux AndroidまたはiOS

保護およびインストール設定 **推奨**

ESET LiveGrid®フィードバックシステムを有効にする (推奨) [?](#)

アプリケーションの検出を有効にする (推奨) [?](#)

最終ライセンス契約に同意し、[プライバシーポリシー](#)を承諾します。

ダウンロード

インストーラーのカスタマイズ 閉じる

インストーラーの様々な展開方法が用意されています。

インストーラーの設定を変更する場合は「インストーラーのカスタマイズ」を選択します。

ライブインストーラーの作成

● インストーラーの作成

「インストーラーのカスタマイズ」を選択した場合、インストーラー作成画面が表示されます。

「基本」では、クライアントのOSやインストーラーに含めるコンポーネントの選択、EMエージェントの設定を行います。

■ ライブインストーラー作成「基本画面」

プログラムをインストールするクライアントのOSを
 選択します。
 WindowsまたはmacOSを選択した場合、インス
 トローラーのタイプとして「ライブインストーラー」
 が選択可能です。

ご契約いただいたライセンスによっては、
 完全ディスク暗号化「ESET Full Disk Encryption」、
 XDRソリューション「ESET Inspect Connector」
 もご利用いただけます。

◆ 設定のポイント
 ・ 親グループ
 ⇒ 事前に作成した静的グループを選択します。

◆ 設定のポイント
 ・ エージェント設定
 ⇒ EMエージェントへのポリシーを組み込むことが
 できます。プロキシ設定などが必要な場合には、
 事前にEMエージェント用のポリシーを作成し、
 設定してください。

ライブインストーラーの作成

● インストーラーの作成

「製品の設定」では、インストーラーに含めるセキュリティ製品や事前に作成したポリシーの選択を行います。

■ ライブインストーラー作成「製品の設定画面」



インストーラーの作成
 インストーラー > ESET Endpoint Security

基本
製品の設定
 配布

● セキュリティ製品
 WINDOWSのESET Endpoint Security、日本語言語
保護およびインストール設定 推奨
 ESET LiveGrid®フィードバックシステムを有効にする ②
 望ましくない可能性のあるアプリケーションの検出を有効にする ②
 インストール中に保護設定を変更することを許可

● エンドユーザーライセンス契約
 エンドユーザーライセンス契約に同意し、[プライバシーポリシー](#)を承諾します。

[その他の設定をカスタマイズ](#) へ

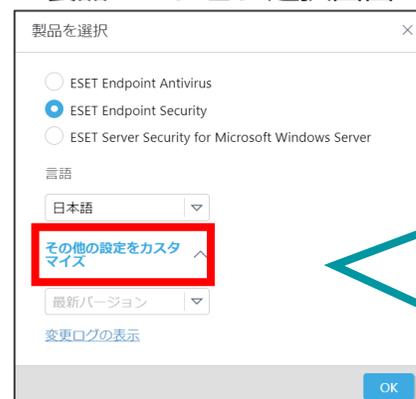
● ライセンス
 [Redacted]
 設定
[選択](#) または [作成](#)
 ESET AV リムーバーを実行
 ESET AV REMOVERを有効にすると、該当する[エンドユーザーライセンス契約](#)に同意したものとします

戻る 続行 終了 キャンセル

◆ 設定のポイント

- セキュリティ製品**
 ⇒ライブインストーラーに含めるセキュリティ製品を選択します。
 基本画面で選択したOSで使用可能なプログラムから選択できます。
- 保護およびインストール設定**
 ⇒セキュリティ製品の保護に関する設定を行うことができます。
- エンドユーザーライセンス契約**
 ⇒セキュリティ製品のエンドユーザーライセンス契約です。
- ライセンス**
 ⇒プログラムのアクティベーションに使用するライセンスを選択します。
- 設定**
 ⇒事前に作成したセキュリティ製品用のポリシーを選択します。

■ 製品バージョン選択画面



製品を選択

ESET Endpoint Antivirus
 ESET Endpoint Security
 ESET Server Security for Microsoft Windows Server

言語
 日本語

その他の設定をカスタマイズ

最新バージョン

[変更ログの表示](#)

OK

◆ 設定のポイント

既定では自動で指定したプログラムの最新バージョンが選択されます。「その他の設定をカスタマイズ」をチェックすることで、旧バージョンのセキュリティ製品も選択可能です。

ライブインストーラーの作成

● インストーラーの作成

「配布」では作成したインストーラーの配布方法を検討します。インストーラーはブラウザからのダウンロードのほか、ダウンロードリンクをメールで送信することもできます。メールで送信する場合は、電子メールアドレスをCSVでインポートすることも可能です。

■ ライブインストーラー作成「配布画面」



インストーラーの作成
インストーラー > ESET Endpoint Security

基本
製品の設定
配布

インストーラーの配布

ダウンロード

リモート展開
Remote Deployment Toolをダウンロードします。作成されたインストーラーを一括でネットワークに配布できます。
詳細を見る

電子メールで送信する

電子メールアドレス	名前

電子メールアドレスが追加されました
ライブインストーラーを送信する受信者の電子メールアドレスを、また、ファイルからアドレスをインポートするか、既存のコンピュータユーザーを追加できます。

追加 詳細 ▾

戻る 続行 終了 キャンセル

インストーラーのダウンロードやダウンロードリンクのコピーが可能です。

電子メールアドレスを追加すると、電子メールプレビュー画面が表示できるようになります。

電子メールアドレスを入力することで、インストーラーのダウンロードリンクをメールで送信できます。
※「詳細」ボタンをクリックするとCSVのインポートが可能です。

■ 電子メールプレビュー画面



電子メールプレビュー

eset PROTECT

ライブインストーラー
インストールパッケージ

このインストールパッケージには、コンピューターの安全を確保するために、IT部門にとって有用なセキュリティソリューションが含まれています。インストールパッケージをダウンロードし、IT部門の指示に従ってください。

ダウンロード

会社の管理者がこの電子メールをESETクラウドサービス経由で送信しました。

ESET PROTECT
© 1992-2024 ESET, spol. s r.o. All Rights Reserved.

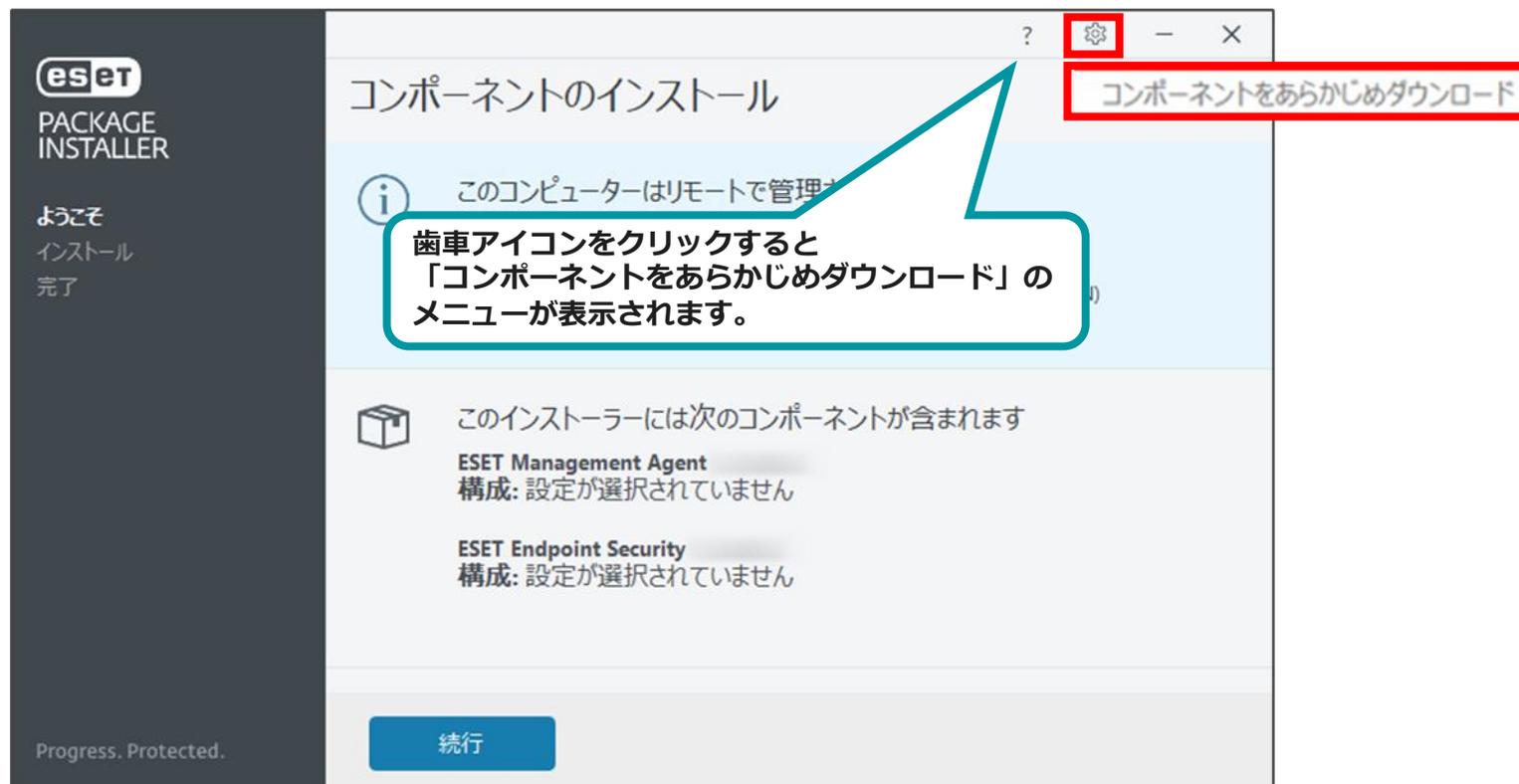
電子メール言語 ②
日本語

保存 キャンセル

オフラインキャッシュのダウンロード

オフラインキャッシュは、任意の端末でライブインストーラー（epi_win_live_installer.exe）を実行してダウンロードします。 ※インストーラー実行時、ユーザーアカウント制御画面が表示された場合は環境に合わせて対応をお願いします

- ①ダブルクリックでインストーラーを実行します。
最初の画面右上の歯車アイコンをクリックし、「コンポーネントをあらかじめダウンロード」をクリックします。



オフラインキャッシュのダウンロード

② 「コンポーネントをあらかじめダウンロード」画面が表示されますので、「ダウンロード」をクリックします。

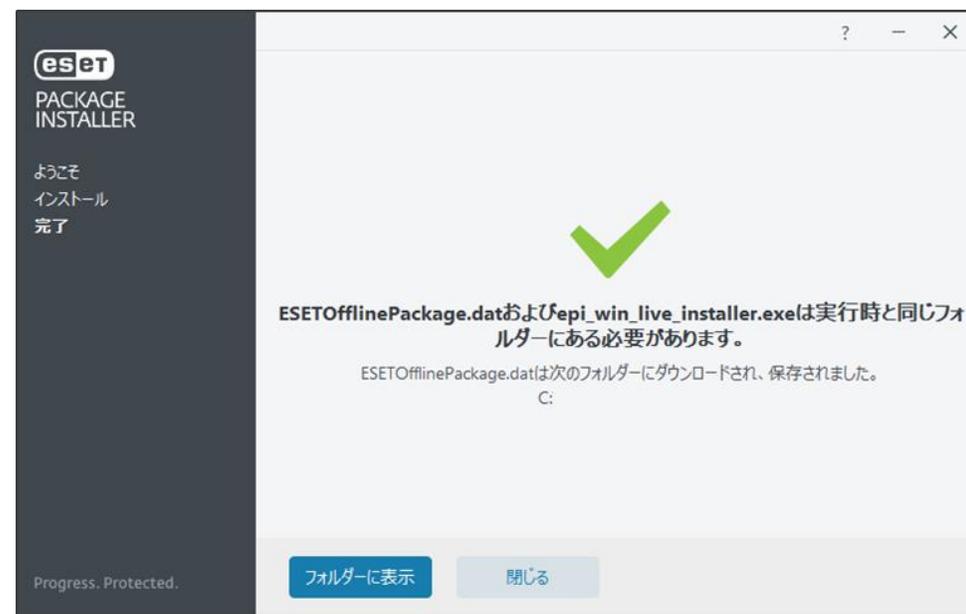
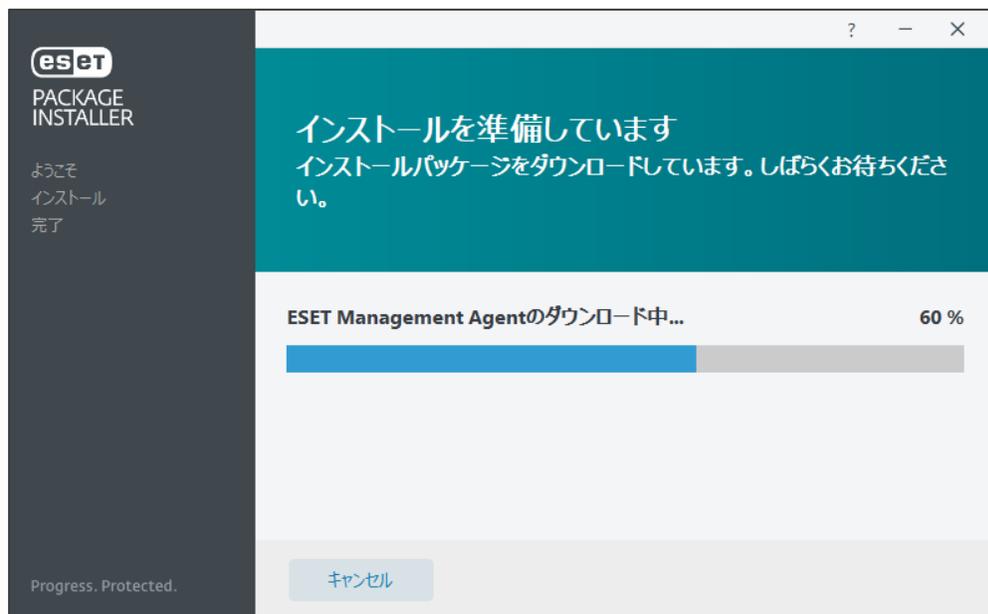


オフラインキャッシュのダウンロード

③しばらくお待ちいただき、右側の画面が表示されたらダウンロード完了です。

ライブインストーラーと同じフォルダにオフラインキャッシュ「**ESETOfflinePackage.dat**」がダウンロードされます。

※右側の画面の「フォルダーに表示」をクリックすると、オフラインキャッシュがダウンロードされたフォルダが表示されます。



オフラインキャッシュを使用したライブインストーラーの実行

ライブインストーラーはEPで管理する各クライアント端末で実行します。オフラインキャッシュを使用してライブインストーラーを実行する際は、通常の実行時と同様に、表示されるウィザードの内容に従ってインストールを進めます。

ただし、あらかじめライブインストーラーと同じフォルダにオフラインキャッシュを配置する必要があります。

1. ライブインストーラーとオフラインキャッシュの配置

①以下のファイルを同じフォルダに配置します。

- ライブインストーラー : **epi_win_live_installer.exe**
- オフラインキャッシュ : **ESETOfflinePackage.dat**



The screenshot shows a Windows File Explorer window with the address bar set to 'PC > ローカルディスク (C:) > folder'. The main area displays a table of files:

名前	更新日時	種類	サイズ
 epi_win_live_installer.exe	2022/12/12 11:11	アプリケーション	13,429 KB
 ESETOfflinePackage.dat	2022/12/12 11:34	DAT ファイル	98,646 KB

オフラインキャッシュを使用したライブインストーラーの実行

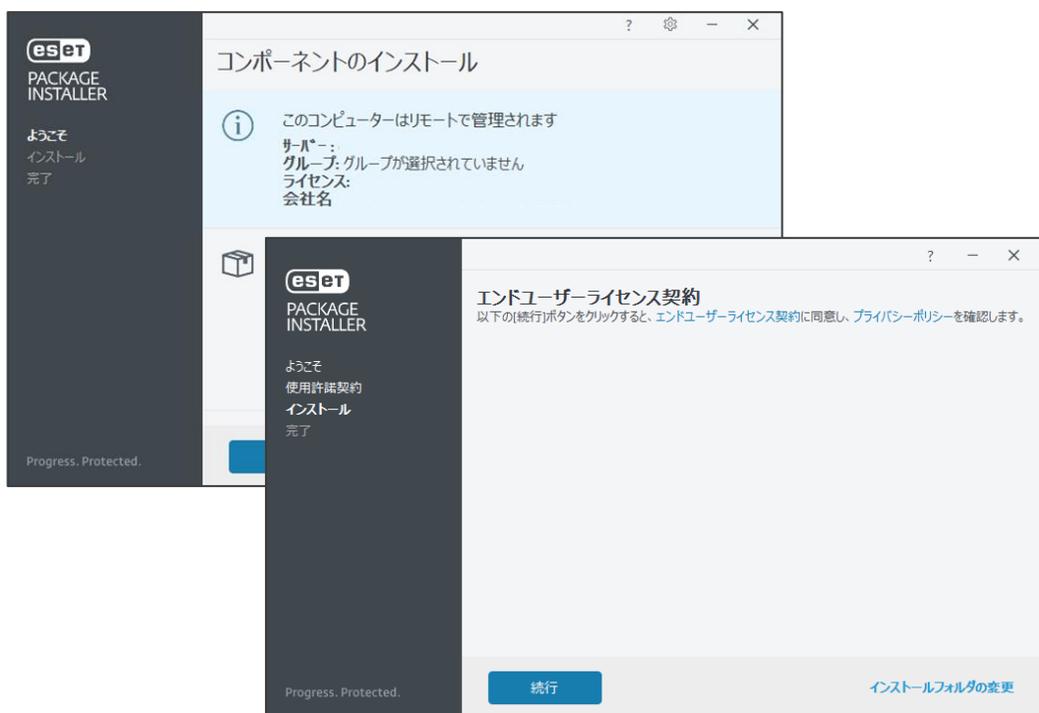
2. ライブインストーラーを実行

※ユーザーアカウント制御画面が表示された場合は環境に合わせて対応をお願いします

※オフラインキャッシュの使用有無にかかわらず、ライブインストーラー実行の際はインターネット通信が発生します

①ダブルクリックでインストーラーを実行

※エンドユーザーライセンスへの同意が必要になります



②しばらくお待ちいただき、

「インストール成功」の画面が表示されたら完了です



● サイレントでライブインストーラーを実行する場合

サイレントでライブインストーラーを実行する場合は、以下のようなバッチファイルを作成したうえでライブインストーラーおよびオフラインキャッシュのファイルと同じフォルダに配置して実行してください。

【サンプル】

```
cd /d %~dp0  
epi_win_live_installer.exe --silent --accepteula
```

--silent : プログラムをサイレント(自動)モードで実行させる --accepteula : 利用規約に同意する

● キャッシュデータのダウンロード

キャッシュデータの内容は、ダウンロードを実施する端末に依存します。

64bit端末でキャッシュデータをダウンロードした場合は、64bitプログラムがダウンロードされます。

32bit端末でキャッシュデータをダウンロードした場合は、32bitプログラムがダウンロードされます。

ご利用の環境によってbit数が異なる場合は、2種類のオフラインキャッシュのご用意をお願いいたします。

● キャッシュデータのサイズ（目安）

- エージェントのみのキャッシュデータを作成した場合
32bit環境：約45MB 64bit環境：約50MB
- エージェント+セキュリティ製品のキャッシュデータを作成した場合
32bit環境：約90MB 64bit環境：約100MB

※上記のサイズは以下のプログラムを設定したライブインストーラーからオフラインキャッシュを作成して確認しています。

- EMエージェント：ESET Management Agent V11.0.503.0
- セキュリティ製品：ESET Endpoint Security V11.0.2032.1

● ライブインストーラーとオフラインキャッシュの内容が一致していない場合について

- オフラインキャッシュに保存されているデータが不足している場合は、不足分のみインターネット経由でデータをダウンロードします。

(例) ライブインストーラー：EMエージェントおよびセキュリティ製品を指定

オフラインキャッシュ：EMエージェントのデータのみ保存

→EMエージェントはキャッシュデータを使用、セキュリティ製品はインターネット経由でインストーラーを取得してインストールします。

- ライブインストーラーで指定したプログラムのバージョンとオフラインキャッシュに保存されているデータのバージョンが一致していない場合は、キャッシュデータを使用せず、ライブインストーラーで指定したバージョンのインストーラーをインターネット経由でダウンロードしてインストールを実行します。

(例) ライブインストーラー：セキュリティ製品として「ESET Endpoint Security V11.0.2032.1」を指定

オフラインキャッシュ：「ESET Endpoint Security V10.1.2058.1」のデータを保存

→ESET Endpoint Security をインストールする際にキャッシュデータは使用せず、インターネット経由でV11.0.2032.1のインストーラーを取得します。

- その他、動作環境や実行条件により、オフラインキャッシュが使用されない場合があります。

● 参考：関連ページ

- クラウド型セキュリティ管理ツールでライブインストーラーを作成してインストールする方法
https://eset-support.canon-its.jp/faq/show/20179?site_domain=business
- ESET PROTECT について
https://eset-support.canon-its.jp/faq/show/19302?site_domain=business
- ESET PROTECTライブインストーラー – Windows (ESETオンラインヘルプ)
https://help.eset.com/epi/4/ja-JP/cloud_win.html